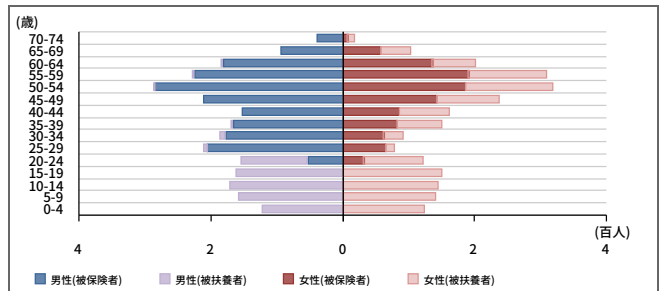


帝国データバンク健康保険組合 サマリー (第3期 令和7年度)

STEP1 基本情報

組合コード	24891
組合名称	帝国データバンク健康保険組合
形態	単一
業種	情報通信業
被保険者数	2,845名
* 平均年齢は特例退職被保険者を除く	男性63% (平均年齢46.3歳) *
	女性27% (平均年齢49.0歳) *
特例退職被保険者数	0名
加入者数	4,863名
適用事業所数	8カ所
対象となる拠点数	83カ所
保険料率 (調整を含む)	92‰



特定健康診査実施率	(全体) 83.9%	(被保険者) 97.6%	(被扶養者) 40.8%
特定保健指導実施率	(全体) 27.3%	(被保険者) 27.3%	(被扶養者) 20.0%

STEP2 健康課題の抽出

優先すべき課題

「新生物」の患者数は少ないものの、医療費総額は多い。かつ長期的視野で見れば予防可能な領域。	✓
カテゴリ：医療費・患者数	
「呼吸器系」「眼・付属機器」「皮膚・皮下組織」「感染症」は患者数は多いが一人当たりの医療費は少ない。	
カテゴリ：医療費・患者数	
ジェネリック医薬品の使用割合は増えているが、家族の年少者へのアプローチが求められる。	✓
カテゴリ：医療費・患者数	
男性については肥満と健康リスクとの相関関係が読み取れる。女性については明確ではない。	✓
カテゴリ：健康状況	
糖尿病重症化予防の観点からは、HbA1cが高いにもかかわらず、服薬していないものがある。	✓
カテゴリ：健康状況	
特定健診については、家族の受診率が低調である。特定保健指導については終了者の割合が低い。	✓
カテゴリ：その他	

STEP3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

被保険者への広報については社内メールなどの連絡手段がありコストを意識せず実施できる。被扶養者については広報誌を使って啓蒙しているが、もっと直接的な「手紙」などの訴求も取り入れていきたい。

事業全体の目標

被保険者は、HbA1cが高いにも拘わらず放置し、受診していない者を0にする。健診で「要再検」「精密検査」と判定された者への産業医面談の欠席者を0にする。特定保健指導の完了者割合をまずは20%とする。ジェネリック医薬品の使用割合は全体で8割まで引き上げる。

職場環境の整備

1 健康管理事業推進委員会（事業主との定期的な意見交換）

加入者への意識づけ

- 1 産業医による健康相談・受診勧奨・禁煙指導
- 2 組合ホームページの運営

個別の事業

- 1 本人特定健診
- 2 家族特定健診
- 3 特定保健指導（被保険者については就業時間内実施配慮）
- 4 保健指導宣伝（受診案内）
- 5 人間ドック
- 6 生活習慣病検査および対面による健診結果の情報提供
- 7 電話による健康相談（こころの健康づくりを含む）
- 8 歯科健診：健診受診者の把握・歯科保健指導・歯科受診勧奨
- 9 家族健康診断
- 10 大腸検査（がん健診・要精密検査者への受診勧奨）
- 11 子宮頸部細胞診検査（がん健診・要精密検査者への受診勧奨）
- 12 家庭用救急薬品の配布
- 13 インフルエンザワクチンの予防接種補助金
- 14 インフルエンザワクチンの集団接種の実施
- 15 眼底検査（一律実施）
- 16 糖尿病性腎症の重症化予防の取り組み
- 17 後発医薬品の使用促進
- 18 健康インセンティブ報奨
- 19 乳がん検診（地方自治体事業）への受診勧奨